

平成30年10月9日

保護者様

篠山市立西紀小学校
校長 塚本 一男

篠山市立西紀小学校 学習や生活に関する学力向上プラン

本校では、毎年実施している3年生（国・算）、4・5年生（国・算・理）対象の篠山市学力状況調査と篠山市生活習慣状況調査、及び、6年生（国・算・理）対象の全国学力・学習状況調査結果をもとに授業などの改善による学力の向上、基本的な生活習慣の定着を図るため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しています。

今年度の調査結果を踏まえ、下記の通り成果や課題をお知らせします。保護者の皆様には、趣旨をご理解の上、子どもたちの学習や生活習慣の改善、そして、本校の教育活動に対しましてご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

1 西紀小学校児童のよいところ

○国語では、聞き取ることや漢字の読みについて正答率が高くなっています。また、算数では、基礎的な問題においての正答率が高くなっています。これは、毎日の家庭学習や朝の学習タイム、授業の中での繰り返し学習を継続してきた成果だと考えています。理科では、基礎的な問題の平均正答率が全国平均を上回るかほぼ同程度で、特に観察・実験の技能において良好な状況でした。

○生活習慣や学習状況では、例年通り「朝食を毎日食べている」「毎日、同じぐらいの時刻に起きている」「地域の行事に参加している」の項目で、良好となっています。加えて「自分にはよいところがある」においても良好な結果が出ていることから、基本的な生活習慣が確立され、家庭・地域の中であたたかい愛情に包まれながら育っていることが分かります。

2 課題と今後の取組

国語科

漢字の書き、ローマ字、国語辞典の使い方などにおいて以前に学習したことが定着しておらず答えられない傾向があります。既習プリントで復習したり、文を書くときには既習の漢字を使ったり、国語辞典で意味を調べたりする機会を多く持てるように指導していきます。

「書く」ことについては、指定したキーワードや文字数で文章を書く活動を取り入れ、「読む」ことについては、いろいろな形式の文章や資料を読む経験をさせながら、キーワードを考えたり、自力で読んで解いたりする活動を取り入れていきます。さらに、各学期末での漢字検定の実施、朝のお話会や読書週間等読書活動の推進に今後も努めていきたいと考えます。また、実践をより日常的に推進できるよう努めていくとともに他の教科等での言語活動の充実に取り組んでいきたいと考えています。

算数科

市・全国調査の結果から、特に小数や分数、グラフ等資料の読み取り、単位の換算、面積の問題において正答率が低く、「数と計算」「量と測定」「図形」に課題があることが分かりました。

基礎・基本の確認やプリントなどで習熟練習を図るとともに、様々な具体物を活用して大きさを調べたり、表や図を描いたり、角や面積など量感をつかんだり、体験的な活動を積極的に取り入れます。また、立式した理由を説明するなどの活動を定着させ式の意味を考えさせたり、算数用語が定着するよう授業や家庭学習に取り入れたりとしていきます。朝の学習タイムでは、計算練習に継続して取り組み、苦手傾向のある問題に挑戦します。高学年では以前から実施している担任と新学習システム教員による同室複数指導や習熟度別少人数授業を一層充実させ、個に応じたきめ細やかな指導を強化していきます。

理科

市・全国調査の結果から、おおむね全国平均を上回るかほぼ同じ結果となりました。ただ、「活用問題の思考判断」の力が下回っています。観察や実験など経験を積み、個々の児童が実験したり、実験結果から考察したりできるよう、子どもが主体となる学習活動の工夫に努めていきます。また、理科用語が理解できるよう繰り返し学習したり、様々な資料を読み取ったりする時間も確保し理科の力を定着させていく必要があります。高学年では教科担任と新学習システム教員による同室複数授業をより充実させ、個に応じたきめ細やかな指導を徹底していきます。

生活習慣・学習状況

市や全国調査の結果から、「1日に3時間以上テレビやビデオ・DVDを観ている」「1日に3時間以上テレビゲームをしている」また「毎日、同じぐらいの時刻に寝ていない」など、家での時間の使い方が気になる児童が多くいることが分かりました。家で宿題はしても、自主学習や読書に取り組む児童が少ないことも分かりました。

学校では、楽しく分かる授業を創造していくとともに、家庭と連携しながら課題を解決していきたいと考えています。運動会や学習発表会、児童会行事などの取り組みを充実させ、成功体験が実感できる機会を増やしたり、自信が持てるよう声かけをしたりすることにも心がけます。そのため、友だちの良さを認め合える学級づくりに力を入れていきます。

ネット社会の進行により、携帯電話やスマートフォンの利用はますます増えています。様々なトラブルにあわないようにするためにも、情報モラル教育の推進とともに「西紀っ子ゲーム・インターネット3カ条『1日1時間8時まで、言わない・とらない・書き込まない、こまったときは知らせよう』」を合言葉に生活の中に浸透するようご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

3 保護者の皆様へ お知らせとお願い

本校の児童は素直で何事にもまじめに取り組み、「基本的な生活習慣」「地域行事への参加」などで肯定的な回答が多くありました。これも、保護者や家庭・地域の方々に温かく見守られて心身ともに健やかに成長しているからだと考えています。

本校では、これまでも調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習の在り方や生活習慣について、学校としての指導方法を改善する取組を推進してまいりました。個人票の返却時も、よい生活を目指そうとする児童の意識を育てるため、担任と児童が学習面や生活面での課題と成果を共有しています。

年度当初に学力向上や生活習慣の確立を願って「西紀っ子スタンダード学習の手引き～自ら学ぶ子をめざして～（保護者配付用）」や「西紀っ子スタンダード生活のてびき・学習のてびき（児童配付用）」を配付しております。「学びに向かう力」の育成が国をあげてうたわれています。本校としても「自ら学ぶ習慣」「基礎基本の重視」「自己課題に挑戦すること」など、学年に応じた学びがご家庭でも定着できるよう学校家庭のさらなる連携のもと力を合わせていきたいと思っております。今後も引き続き温かい見守り・ご協力をお願いいたします。

※篠山市教育委員会では、子どもたちに育む学力を「一本の樹」としてとらえています。1枚1枚の「葉」は一つ一つの知識や技能です。地中に広がる「根」は学習習慣や意欲・関心・態度です。その「葉」と「根」をつなぐ「幹・枝」は思考力、判断力や表現力であるととらえています。そして、学力向上のために必要なことは、葉と根の両方に十分な栄養をやり、幹を太くして、木全体を成長させることなのです。木の成長とは、子どもたちの豊かな人間性・社会性の成長にほかならないのです。

学力の樹

